

授業概要

英語そのものだけを見ていると気づきにくい英語の文法の特徴も、世界のさまざまな言語と比較することでその特徴がよく見えてくる。この授業では、英語という言語にはどのような文法的特徴があるかについての理解を深めることを目的とし、英語の疑問文、虚辞構文、結果構文、複合語などの文法現象や語順を他言語との比較を交えながら講義する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	主語の省略を許す言語と許さない言語（1）
第 3 回	主語の省略を許す言語と許さない言語（2）
第 4 回	日本語と英語の語順の比較
第 5 回	世界の言語の語順の比較
第 6 回	動詞が移動する言語としない言語（1）
第 7 回	動詞が移動する言語としない言語（2）
第 8 回	これまでのまとめと演習
第 9 回	世界の言語の疑問文の比較（1）
第 10 回	世界の言語の疑問文の比較（2）
第 11 回	世界の言語の疑問文の比較（3）
第 12 回	複合語と結果構文（1）
第 13 回	複合語と結果構文（2）
第 14 回	複合語と結果構文（3）
第 15 回	これまでのまとめと演習
第 16 回	期末試験

※ 授業の内容、進度は状況に応じて変更されることがある。

到達目標

- 様々な言語の分析を通して、人間言語についての理解を深めることができる。
- 様々な言語のデータが分析できる。
- 他言語との比較を通して、英語という言語への理解、興味、関心を深めることができる。

履修上の注意

トピックによっては、文の統語構造を使って講義を進めるものもあるので、言語学、英語学（概論）、英語学（各論）のいずれかを受講していて統語構造に関する基本的な知識があることが望ましい。
授業中は、言語分析の問題を解く時間も多くあるので、ただ講義を聞いてノートをとるだけでなく、自分の頭でよく考えて、わからないことは積極的に質問するようにすること。

予習・復習

- 予習：次回の授業範囲の資料やハンドアウトに目を通し、指示された問題を解いておく。
- 復習：授業でわからなかったところは次回の授業までにクリアにしておくか、疑問点をよく整理しておく。また、授業で扱った問題は家でもう一度解いて復習しておく。

評価方法

授業内での発表、提出物、毎回授業の最後に行う講義内容に関するクイズの結果を平常点として点数化し、筆記による定期試験の結果と合わせて評価する。

平常点 40% 定期試験 60%

テキスト

教科書は使わない。作成したハンドアウトや資料を配布して授業を行う。